



広報みすず

11

2023

第495号

美鈴が丘まちづくり協議会



優勝・西街区チーム

学区体育協会をはじめ、多くの団体の協力の下、昨年に続き大運動会が開催された。

コロナが完全に収束していない現状を鑑み、午前中のみの大会となったが、運動会を祝福してくれているような快晴の中、開会式がスタートした。柳田大会会長が、「昭和57年から始まり今回が37回目の開催になった。多くの関係者の協力の下、開催できることを大変うれしく思います」と挨拶。スタートは美鈴が丘中学校の吹奏楽部の演奏に続

秋晴れの晴天の下での大運動会
優勝はトップ独走の西街区でした



中学校吹奏楽部の演奏

いて競技が開始された。未就学児から中学生まで美鈴が丘の次世代を担う子ども達の競技が多く組まれており、又防災意識の高まりを背景に防災訓練をかねたバケツリレーなどの11種の競技が生まれ、参



来賓が見守る中で選手宣誓

加者は各競技に懸命に取り組んだ。街区対抗では序盤から西街区が抜け出し独走態勢で大きく他の街区を引き離れた。途中にはヒップホップスマイルの華麗なダンスなども披露され、1000人以上もの地域住民が一堂に会し、笑顔で半日を過ごせたことが何より素晴らしいことだと深く感じた。



緑街区アンカー、トップでゴール



なかなかうまく入りません



玉入れ



パンを食いちぎるのは難しい



梯子をくぐるのは難関

★組長・班長さんをお願い！一軒ずつ戸別配付してください！

広島市豪雨災害

伝承館訪問記



伝承館玄関



内部の展示

安佐南区八木三丁目に9月1日オープンしたばかりの展示施設を早速見学。土砂災害警戒区域が全国で断トツに多い広島に甚大な災害が発生した歴史を永く記憶に留めておく為の大変重要な歴史的な施設が初めて登場した。土石流発生状況を再現したCG映像や被災体

験者の証言が上映される臨場感あるコーナーも用意され、併せて詳しく解説されたパネルも沢山掲示されている。77人が犠牲になった平成26年(2014年)8月の豪雨災害を風化させず教訓や知識を伝承して未来に語り継ぐ。併せて防災意識の高揚啓発や防災まちづくりの推進を図ることを目的にしている。1階研修室では120人が受講出来る。災害時には避難所としても活用。簡易トイレや段ボールベッド等も備蓄している。また、隣接公園には、災害時には炊出しで大活躍するカマドベンチを設置。大きな災害を体験した教訓が随所に生かされている。入館は無料。次に、近くに整備された高さ14.5mの砂防堰堤や2万mもの土砂を止められる土石

流堆積工を見学。その他にも様々な規模の砂防堰堤が緑井・八木地区に40基整備されている様子を見て、パネル解説で確認。甚大な災害を体験し、災害復興に至るまでの過程がよく分かった。豪雨災害の原因は、積乱雲が次々に発生して線上に連なり長時間に亘って大雨を降らせる線状降水帯が発生した事によるもの。ひとつの積乱雲の寿命は約1時間だが温暖化の影響で海水温が高くなり、湿った暖かい南風が続々と流入し次々と積乱雲が発生。帯状に連なり長さ50km、300km、幅20km、50km程の大きな縦長の塊となつて長時間に亘って大雨を降らせる。一旦発生すれば何らかの大きな災害を引き起こしている事例は全国各地で確



災害当日の線状降水帯

認出来る。「平成26年8月豪雨災害」は、被害の規模が大きく全国的に注目を集めた結果、各地で同様の積乱雲が次々に発生し帯状に連なる現象である「線状降水帯」が広く一般的に使われるようになった経緯がある。(永瀬)



完成した巨大な砂防堰堤

広島市下水道局管理課の職員の方々にお越しいただき、下水道講座が開催されました。下水道の仕組みと役割、排水設備について、下水道資源の有効活用についての3つのテーマで講義がなされました。特に広島市における下水道の仕組み(汚水と雨水を別々に排水する分流式の仕組みや微生物を使って汚水を浄化する仕組みなど)から、家庭の排水設備のメンテナンス方法に加えて、排水管が詰まった時の対処方法や掃除方法など、又悪質な清掃業者についての注意点など、

◆環境講座 公衛協



微生物の紹介

内容は多岐に渡りました。下水道という生活に欠かせない設備であるにも関わらず、知らない話も多く、非常に勉強になりました。(森野)

◆新駐在所長着任

警部補 川崎英範

9月から美鈴が丘駐在所の所長として着任しました河崎英範です。かねてから美鈴が丘地区は住民の方の防犯意識が非常に高いと伺っており、頼もしく思うとともに責任を感じています。ところであります。が、安全・安心な美鈴が丘の実現に向けて頑張つてまいりますので宜しくお願いします。現在41歳・好きな食べ物はパン。趣味はパン屋へ行くことや散歩などです。



次世代をつなぐ**元氣** 美鈴っ子 ⑧2

今回は2組の美鈴っ子を紹介します

東の元氣いっばいの男の子を紹介します。

琥珀^{こはく}くん(4歳)は、優しくて面白くていつも周りを笑顔にしてくれる体を動かす事も大好きなヤンチャな男の子。もうすぐ弟が生まれてお兄ちゃんになる琥珀は、お手伝いもたくさんしてくれていてとっても頼もしいです。これからも優しく遅しく元気に大きくなっ

てね。
ママより



琥珀くん(4歳)

南2の仲良し兄弟を紹介します。

兄のきっぺいは好奇心旺盛です。気になると、知りたいことはどんどん調べて詳しくなっています。今一番興味があるのは戦国武将！弟のれんは元氣いっばいでお兄ちゃんが大好きです。最近は何でも「自分でやりたい！」と新しいことに

たくさん挑戦をしています。特技は恐竜になりきるこ

と。そんな二人のおかげで、毎日が楽しく、わくわくしています。



長男 きっぺいくん(6歳)
次男 れんくん(2歳)

◆みすずプラチナフェスタ

敬老の集い

社会福祉協議会

令和5年度の敬老の行事として敬老の集い「みすずプラチナフェスタ」が公民館で開催された。開催に先立ち挨拶に立った地区社会福祉協議会の宮本会長は「コロナの影響やこの

4年間の高齢化の進展で対象者が増加したことにより、集まつの開催が出来ず、このような催しを開催する運びとなった。特にプラチナと命名した意味は何時までも元気に輝いてほしいという意味を込めている」と挨拶。続いて懐かしのレコードコンサートで昭和の懐かしい演歌、ジャズ、ポップスなどが演奏され参加者はうっとりとした気分に包まれた。

また、休憩時間に理学療法士の指導の下、腰痛や猫背の予防方法や健康体操での体のリラクゼーション方法

の指導を受けた。その他別会場では抹茶の振舞、福祉用具の展示、微笑み写真撮影会などが、また包括支援センターによる健康相談センターも開設され多くの高齢者が相談に訪れていた。敬老という観点での楽しい企画でした。

(山本)



レコードコンサート

◆子ども110番の家

情報交換会 青少協

広島市教育委員会から子ども110番の家の趣旨・役割の説明がなされた。始まりは平成8年岐阜県での事件の教訓から、広島県では平成10年から。美鈴が丘では現在492軒が登録されていて、「子どもの緊急避難場所」として、且



つ「地域の防犯意識の向上による犯罪の防止」の役割を果たしている。続いて駐在所井上巡査長から「昨今の青少年を取り巻く環境」と題して講演がなされた。美鈴が丘では、登下校での不審者による声かけや盗撮が多く、注意すること。子ども達は「いかのおすし」を守って、事象が起こった場合は速やかに110番の家に逃げ込むこと。最後にSNS環境でのトラブルに十分注意するようにとの話がなされた。画面の向こうは闇の世界と認識してうまく付き合うことが肝心との話がなされた。

◆美鈴っ子がソフトボールで頑張っています。

美鈴が丘ジュニアソフトボールクラブ(MJ)

は部員が2年から6年生まで31人、高学年は硬いボール、低学年は柔らかいボールを使って小学校で元氣杯練習しています。4年生以下は全国ティール大会

大会県大会の準決勝で破れましたが堂々の3位、4年生の甲子園である明日のヒーロー杯も3位入賞、6年生は中国新聞社杯西部大会で準優勝、五月杯大会で優勝、5年生は春季全国大会西部大会で優勝



MJの面々

11月に県大会に出場して全国大会を目指します。皆様の応援をお願いします。

◆飯盒ご飯で

キャンプ飯

秋分も過ぎ、秋の様な秋かと思いきやまだ暑い。そんな中親子で飯盒ご飯キャンプ飯を作る催しが男のゼミナール主催で行われた。米に水を吸わせガスコンロで炊く間に今日のキャンプ飯である鮭のホイル焼きに取り掛かる。アルミホイルで作った容器に玉葱等を添え、グリルに入れ加熱。うまい具合にご飯も炊け蒸らす間にホイル焼きも出来上がり時間はぴったり正午。ゼミの皆さんがシチューとスペアリブも用意してくれていて豪華な昼食となった。男のゼミナールではメンバー募集中です。(宮本)



飯盒ご飯

◆道行地藏秋季例祭

シニアクラブ

コロナの影響からこの春に再開した道行地藏尊の「秋祭り」が催された。参加者約99人、曹洞宗・西福院の住職によるお経の終了に伴い、雨模様となった為参加者は解散になり法要は関連者のみで執り行われた。楽しみにしていた法話は次回に持ち越しとなった。



住職による読経

◆美鈴楽市再開

美鈴モール

コロナ禍でお休みしていた美鈴モールの土曜朝市「美鈴楽市」第96回が3年ぶりに再開。モール街の特設舞台では、4組のアーティストが出演。キッチンカー1台の他、10数店が出店。久し振りの開催を待っていた

ファン客約300人が訪れ、買い物や友人知人との会話を楽しんでいた。関係者によると11月11日(土)美鈴神社例大祭を初め、今後は従来の行事を再開し美鈴モールの街の従前の賑わいを取り戻し地域の活性化に貢献して行きたいとの事。

◆英語で絵本

公民館

参加者12人と小1の少女。皆さん子どもや孫に英語の絵本を読み聞かせたいの思いで参加の様子。最初に3つのポイント。①英語圏で作られた絵本であること②丁度よいレベルの絵本であること③有名な絵本であることこの説明を受け丁寧に発音を教わりながら「Where is the green sheep?」を読む。あつという間の1時間でした。(下門)



◆りんりんタフシーの

ジャケットが

変わりました。

添乗員のジャケットが変わりました。ピンクに近い赤に統一され評判は上々です。

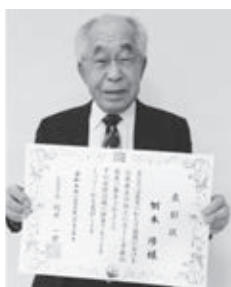


事務局 平井さん

◆公衆衛生功労者

広島市長表彰

公衛協会長 刎本 渉



◆安心安全なまちづくり

広島市長功労表彰

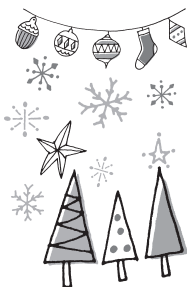
シニアクラブ



シニアクラブ 阪井会長

■お知らせ・催し

- 11月5日(日) ふれ合い音楽会
- 11月22日(水) りんりん下校
- 11月25日(土) 公民館クリスマスイルミネーション点灯式
- 11月26日(日) 第32回公民館祭り
- 東第3公園
- イルミネーション点灯式
- 12月17日(日) 合同クリスマス会
- 1月7日(日) とんど祭り



おくやみ

- 8/22 岡本 保子様(80)東3
- 9/6 福原 清之様(86)南4
- 9/10 中田 一正様(69)東2
- 坂根 公子様(71)東4
- 9/19 仙谷 清治様(85)東4
- 10/6 水田 聰様(91)東2

お祈りします。

謹んでご冥福を

お詫びと訂正

9月号で記述に誤りがありました。左記通り修正致します。

おくやみ欄

(誤) 向井小夜子様東4

(正) 向井小夜子様南4

謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

最近テレビニュースを見ていると、豪雨による道路の冠水や、下水から雨水が逆流する映像が流れない日はありません。先日八木地区に豪雨災害伝承館がオープンしたという話があり、広報部員4人で見学に行ってみました。伝承館では土石流をCGで再現したり、悲惨な状況の解説や展示がされていました。伝承館の訪問後災害現場を訪れました。まず驚いたのは住宅地のすぐ前の山がそびえたち急斜面がせまり威圧される圧迫感。その中に新しく建設された大きな砂防堰堤。災害の大きさが実感させられた。これなら土砂崩れも食い止められるように感じましたが、驚いたのは慰霊碑のごく近くに新しく県営住宅が再建されていること。率直な感想としては「こんな近くで大丈夫？」でした。

広報みすず
第495号
発行
発行日
令和5(2023)年11月10日

編集
美鈴が丘まちづくり協議会広報部
発行
美鈴が丘まちづくり協議会